

第2期萩市総合戦略及び 地方創生交付金の効果検証について

第2期萩市総合戦略に掲げる令和2年度の実施の効果検証	・ ・ ・ ・ ・ P 1~25
地方創生推進交付金の効果検証	・ ・ ・ ・ ・ P 26~28

萩市総合政策部企画政策課

目次

1 だれもが生きいきと暮らせるまちづくり	1
①持続可能な医療体制の構築	1
②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進	1
③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進	2
④障がい者の社会参加の促進	3
⑤安心して質の高いサービスの確保	3
⑥その他全般的事項	4
2 子育ての幸せが実感できるまちづくり	5
①妊娠・出産・子育て環境の充実	5
②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり	5
③仕事と子育ての両立支援	6
④出会い・結婚サポートの充実	6
3 未来を担うひとを育むまちづくり	7
①「志」教育の推進	7
②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	7
③地域とともにある学校づくりの推進	8
④萩の未来を支える教育機会の充実	8
⑤その他全般的事項	8
4 産業活力があふれるまちづくり	9
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生	9
②起業・創業と企業誘致の推進	10
③企業人材の育成と雇用拡大の支援	10
④力強い農林水産業の推進	11
⑤地域産業の担い手・後継者育成	13
⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成	14
⑦その他全般的事項	14

5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	14
①全国に誇る萩のまちなみの継承	14
②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり	15
③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承	15
④萩ジオパーク構想の推進	16
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進	17
⑥観光客誘致の積極展開	18
⑦その他全般的事項	18
6 生活基盤の充実した住みよいまちづくり	19
①暮らしに密着した交通網の形成	19
②生活サービス機能の維持・向上	19
③持続可能で快適な環境づくり	20
④防災体制の強化	21
⑤地球にやさしい環境づくり	21
7 だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	22
①市民との協働による元気なコミュニティづくり	22
②萩の魅力をいかした移住・定住	23
③市民一人ひとりが輝くまちづくり	24
④地域の特色をいかしたまちづくり	24
⑤魅力ある離島の発展	25
⑥その他全般的事項	25

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比				
1	KGI：市民満足度の向上	向上	-	28.7%	-	-	-	-	-			
だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	①持続可能な医療体制の構築											
	KPI①：萩・阿武健康ダイヤル24利用件数（年間）	2,500件	1,555件	2,161件	-	-	-	-	606件	【KPI①】一次救急の診療時間を翌朝8時から午後10時までに短縮したことが、利用件数が増加した要因と考えられる。今後も24時間対応の電話健康相談窓口である萩・阿武健康ダイヤル24を周知していく。【KPI②】令和3年度に2名養成し、目標数値に向けて取り組んでいく。具体的には、指導担当職員のフォローアップ強化、資格試験前の事前試験を実施し、早期に学習に取り組ませる。		
	KPI②：高度救命処置を実施できる救急救命士の養成数	33人	28人	28人	-	-	-	-	0人			
	主な 取組	萩保健医療圏における中核病院の形成										
		<ul style="list-style-type: none"> ・中核病院形成検討委員会の開催 ・将来の萩の医療を考えるシンポジウム～中核病院づくりに向けて～の開催 										
市民病院、市立診療所の運営管理・設備の維持・確保												
<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院の運営管理 ⇒ コロナによる受診控えや手術・検査制限の影響を受け、厳しい運営となったため、経営改善に取り組んでいる。 ・市立診療所の運営管理 ⇒ 患者数の減少や医療従事者の不足など診療所の運営は厳しくなっており、グループ化や集約化等、体制見直しを検討する必要がある。 												
主な 取組	救急医療体制の確保											
	<ul style="list-style-type: none"> ・一次救急の維持 ⇒ 24時間体制が困難になったため、診療時間を翌朝8時から午後10時に変更し、一次救急の維持を図った。 ・二次救急の維持 ⇒ 1病院が輪番を離脱し、3病院による輪番となった。 											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比				
1	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進											
だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	KPI①：認知症サポーターの養成数（累計）	10,000人	8,311人	8,840人	-	-	-	-	529人	【KPI①】コロナの拡大防止のため、例年のような介護予防の普及啓発活動や、認知症サポーター養成講座等の出前講座は実施が困難であった。今後は、感染予防に留意しつつ、身体活動や社会活動が維持できるよう取り組む。【KPI②】通所型については、目標を達成している。訪問型については、目標まであと1箇所のため、支援を継続する。今後も各生活圏域において必要な生活支援サービスが提供できるよう、地域ささえあい推進員や地域ささえあい協議体を通じ、継続的な支援を行う。		
	KPI②-1：住民主体によるサービス提供団体数 通所型	15箇所	13箇所	15箇所	-	-	-	-	2箇所			
	KPI②-2：住民主体によるサービス提供団体数 訪問型	11箇所	9箇所	10箇所	-	-	-	-	1箇所			
	主な 取組	介護予防と認知症支援の推進										
		<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防 ⇒ 地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防についての普及啓発を行った。 ・認知症施策の推進 ⇒ 認知症の人やその家族の支援、見守り体制など、認知症の人の意思が尊重され、よりよい環境で暮らすことができる地域づくりを推進した。 										
すべての人への権利擁護支援												
<ul style="list-style-type: none"> ・萩市権利擁護支援センターの運営 ⇒ 権利擁護支援の総合相談窓口として、萩市権利擁護支援センターを運営した。 <新規>・権利擁護支援体制の充実 ⇒ 萩市権利擁護支援センターを中核機関とし、権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築した。 												
主な 取組	地域の支え合い活動の推進											
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ささえあい推進員の配置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援した。 ・地域ささえあい協議体の設置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場を設置した。 ・住民主体の生活支援環境整備 ⇒ 住民主体の高齢者生活支援サービスを実施する団体を支援するため、活動支援車両を整備した。 											
主な 取組	高齢者等公共交通利用困難者への移動支援											
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地域外出支援サービス ⇒ 公共交通機関から遠距離にある地域及び離島における高齢者等の外出支援サービスの実施及び送迎用車両等の整備を行った。 ・大島地区高齢者等外出支援サービス ⇒ 市の公用車を貸与して町内会の運行により渡船場までの送迎を行った。 											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進								【KPI①、②】健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防と重症化予防のため節塩運動に取り組んだ。今後は、働き世代の健康づくりの動機付けとして、やまぐち健幸アプリの登録の推進を行う。また、至誠館大学と協働で家族で楽しめる健康体操を作成し、周知を図る。【KPI③】令和2年度はコロナの影響により、健診期間短縮や完全予約制導入等を実施したため、受診率が伸びなかった。今後もがん検診費用への支援を継続し、受診率の向上に努める。【KPI④】令和2年度は、コロナの影響により受診率が低迷した。自己負担額の無料化並びに未受診者勧奨を引き続き実施し、受診率の向上に努める。	
	KPI①-1：健康寿命 男	79.47歳	78.87歳	79.93歳	-	-	-	-		1.06歳
	KPI①-2：健康寿命 女	84.34歳	83.74歳	83.11歳	-	-	-	-		-0.63歳
	KPI②：糖尿病患者の割合（50歳代）	6.5%	8.0%	8.5%	-	-	-	-		-0.5%
	KPI③-1：胃がん検診受診率 男	10.0%	2.4%	0.9%	-	-	-	-		-1.5%
	KPI③-2：胃がん検診受診率 女	10.0%	3.8%	1.1%	-	-	-	-		-2.7%
	KPI③-3：大腸がん検診受診率 男	10.0%	3.2%	5.6%	-	-	-	-		2.4%
	KPI③-4：大腸がん検診受診率 女	10.0%	6.8%	7.4%	-	-	-	-		0.6%
	KPI④：特定健康診査受診率	60.0%	26.5%	24.9%	-	-	-	-		-1.6%
	主な 取組	各種健康診査や予防接種の推進								
<ul style="list-style-type: none"> ・成人健康診査 ⇒ 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診等、各種検診を行った。 ・がん検診の総合支援 ⇒ 特定の年齢に達した方のがん検診の無料クーポン券を交付し受診促進を図った。 ・高齢者の予防接種 ⇒ 季節性インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施した。高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担分を無料とした。 ・新型コロナウイルスワクチンの接種 ⇒ コロナの発症を予防するためのワクチン接種に係る体制の確保を行った。 										
主な 取組	健康的な生活習慣の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防と重症化防止の取組 ⇒ 生活習慣病予防のための食事や運動についての媒体や健康体操を作成し、周知した。節塩プロジェクトを実施し、健康相談や健康教育等、節塩運動を広めた。 ・やまぐち健康マイレージ事業の活用 ⇒ 萩市のマイレージ事業「萩にゃん。健康チャレンジ」、やまぐち健幸アプリ登録の推進を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	④障がい者の社会参加の促進									
	KPI①：手話通訳者数	10人	6人	6人	-	-	-	-	0人	【KPI①、②】「手話言語条例」に基づき、誰もが手話に触れ、新たなコミュニケーション方法を獲得することを目指して市民参加型の手話研修会を実施した。また、手話通訳者、要約筆記者を確保するため今後も養成講座を実施する。基幹相談支援センターを中心に相談支援体制を強化し、障がい者や療育を必要とする児童及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう相談機能の充実を図る。
	KPI②：要約筆記者数	10人	8人	8人	-	-	-	-	0人	
	主な 取組	手話言語条例の推進								
<ul style="list-style-type: none"> ・手話研修会の開催 ⇒ 市職員を対象に開催した。 ・手話通訳者や要約筆記の配置 ⇒ 市主催の講演会等において配置した。 ・フォローアップ研修の実施 ⇒ 手話通訳者資格の取得に向け、手話奉仕員を対象に実施した。 ・奉仕員の養成講座の開催 ⇒ 要約筆記者確保に向け、市内のみの活動に限定した養成講座を実施した。 										
主な 取組	相談支援体制の強化									
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所の機能強化を推進 ⇒ 基幹相談支援センターを設置し、機能強化を推進した。 									
主な 取組	障がい者福祉の経済的支援や環境整備									
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 ⇒ 福祉サービスの助成を行った。医療費の助成を行った。日常生活用具費の助成を行った。 ・さんみ苑の施設修繕 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	⑤安心して質の高いサービスの確保									
	KPI①：山口県立萩看護学校（第1看護学科）卒業生の市内医療機関就職者数（年間）	5人	1人	0人	-	-	-	-	-1人	【KPI①】地域医療の魅力発信、市内就職の促進など、市の取組が不十分だった。今後は、看護学生との交流など関わりを増やしていく。【KPI②】コロナの影響で中止となった研修もあった。今後も取組を継続していく。【KPI③】令和2年度から開始した介護従事者の研修受講支援を継続する。介護人材資格取得等助成金については、多くの利用があり大変喜ばれている。今後も現場の声を聞きながら、事業を継続する。
	KPI②：医師の初期研修受入者数	20人	17人	18人	-	-	-	-	1人	
	KPI③：介護人材の不足数	41人	76人	54人	-	-	-	-	22人	
主な 取組	医療従事者の確保対策の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の確保 ⇒ 医療従事者を志す学生に地域医療の魅力を知ってもらうため、地域医療セミナー開催の負担金を支出した。市立診療所の医師が萩看護学校で講義、講演を実施し、市内就職の促進に努めた。 									
主な 取組	介護人材の確保対策の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に係る費用の助成 ⇒ 介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、各種研修、介護福祉士国家試験などの費用を助成した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項									
	KPI①-1：福祉ボランティア数 団体	16団体	10団体	10団体	-	-	-	-	0団体	【KPI①、②】コロナの影響でボランティア活動自体が制限されているため、福祉ボランティア数は増加が見込めなかったが、町内会福祉部が新たに1つ組織化された。今後も、福祉ボランティアや住民による地域福祉組織の拡充に努めていく。【KPI③】要因として、コロナの影響により、講座依頼数が減少したこと、また、講座参加人数を制限したことが考えられる。しかし、コロナ禍においてゲートキーパーの役割はますます大きくなっている為、今後も養成講座を実施し、見守り体制を強化していく。
	KPI①-2：福祉ボランティア数 個人	70人	5人	5人	-	-	-	-	0人	
	KPI②：住民による地域福祉組織（地区社協・町内会福祉部等）の設置数	51組織	38組織	39組織	-	-	-	-	1組織	
	KPI③：こころの健康づくり見守り隊員数（累計）	4,000人	2,559人	3,462人	-	-	-	-	903人	
主な取組	<p>地域福祉の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市社会福祉協議会の運営 ⇒ 地域福祉活動推進事業を安定的に運営できるよう、人件費等の補助を行った。新たに地区社協連絡協議会の設置が行われた。 <p>地域保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の開催 ⇒ 学校教育課と協力し、教職員を対象に開催した。 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ⇒ 閉じこもり、自殺等の早期発見、早期対応策として心の健康づくりの支援を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
KGI：希望する子どもの数（子どもを持つ予定人数）の増加									
	2.27人	2.21人	2.11人					-0.1人	
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	①妊娠・出産・子育て環境の充実								
	KPI①：育児に必要な備品購入等支援件数（累計）	1,500件	-	307件	-	-	-	-	-
	KPI②：子育て世代包括支援センター相談件数（年間）	960件	567件	993件	-	-	-	-	426件
	KPI③-1：特定妊婦相談実施率 電話相談	80.0%	64.3%	92.3%	-	-	-	-	28.0%
	KPI③-2：特定妊婦相談実施率 対面相談	60.0%	42.9%	34.6%	-	-	-	-	-8.3%
	KPI③-3：特定妊婦相談実施率 家庭訪問	50.0%	32.1%	26.9%	-	-	-	-	-5.2%
	主 な 取 組	子育て世帯への経済的支援の推進							
		<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 ⇒ 高校生等までの医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 ・子育て世帯への応援 ⇒ 育児に必要な備品や新生児のおむつの購入費用を助成した。 ・児童手当、多子世帯子育て支援金の支給 ⇒ 児童手当を支給した。第3子以降の保育料を助成した。 							
		相談体制や各種講座の充実							
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営 ⇒ 総合相談窓口として開設した。相談対応による支援をはじめ、出前講座による啓発活動や経済的支援を実施した。 ・家庭児童相談室の運営 ⇒ 家庭児童相談員を配置し、虐待、いじめ、不登校など家庭の環境により生じた健全育成上の問題に対し、助言・指導を実施した。 							
健康診査や予防接種の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に係る取組 ⇒ 各種健康診査の実施や、妊婦健康診査費用の助成、産婦健康診査費用の助成を実施した。 ・予防歯科 ⇒ 妊婦歯科健康診査、歯科医師や歯科衛生士による歯科健診や保健指導（出前講座）を実施した。 ・予防接種の実施 ⇒ 風しんの追加的対策事業（抗体検査、予防接種）、小児定期予防接種を実施した。各種予防接種費用を助成した。 									
不妊症・不育症に対する支援									
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊症治療費、不育症治療費の助成 ・県不妊治療専門相談会への協力 									
【KPI①】単年300件を超える利用となっており、好評で需要の高い制度であると言える。【KPI②～③】妊娠届出時にセンターを紹介することで、認知度が上がった。助産師による細かな対応により、相談件数、来所者数が増加した。特定妊婦に関して、働く方が増加しており、産前休暇に入ってからすぐに里帰りする方が多いため、対面相談や訪問が難しい。コロナの影響により他者との接触を控える方も多く、電話相談以外の割合が減少した。今後も定期的な架電による状況把握に努め、相談者に寄り添った対応、助産師が在駐している強みをいかした対応を継続する。対面相談や訪問は、必要性や本人の意向に沿って実施する。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
KGI：子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり									
	52,000人	50,872人	43,346人	-	-	-	-	-7,526人	
	100%の維持	100%	100%	-	-	-	-	0%	
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	保育所等の運営管理								
	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の運営、民間保育所等への支援 ⇒ 公立保育園を運営するとともに、市内児童が入所している民間保育所等に対して運営経費を支援した。 								
	主 な 取 組	子育て拠点施設や遊び場の運営管理							
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営 ⇒ 子どもの諸活動、子育て支援事業、広報活動等を実施した。 ・プレーパークの運営 ⇒ 自己責任のもと、自由な遊びを実現する場を提供した。 ・親子の遊び場「あそぼー舎」の整備 ⇒ 創造力豊かな子どもの育成につながるよう、体全体を使ってアクティブに遊べる親子の遊び場を整備した。 							
		放課後等の生活・遊び場の充実							
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成の推進 ⇒ 小学生を対象に児童クラブを開設した。放課後子ども教室を開催した。 									
【KPI①】児童館の来館者数については、コロナの感染拡大のために臨時休館や開館時間の短縮等を実施したことにより減少した。今後もコロナ対策を万全にし、利用しやすい環境づくりに取り組む。【KPI②】100%を維持できているため、今後も100%を維持する。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	③仕事と子育ての両立支援									
	KPI①：病児保育利用者数（年間）	450人	299人	255人	-	-	-	-	-44人	【KPI①、②】病児保育利用者数は、手洗いやアルコール消毒等のコロナ対策が進んだ結果、風邪やウイルス性胃腸炎などの感染症にかかる子どもが減少した。休日保育利用者数は、日曜祝日に勤務がある保護者が減少し、家庭内で保育が可能となった。今後もコロナ対策を万全にし、利用しやすい環境づくりに取り組む。
	KPI②：休日保育利用者数（年間）	600人	592人	409人	-	-	-	-	-183人	
主な取組	<p>仕事と子育ての両立しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育の実施 ⇒ 夜間及び深夜勤務を伴う保護者の児童を翌朝まで預かり、仕事と子育ての両立を支援した。 ・休日保育の実施 ⇒ 日曜祝日に保護者が仕事で家庭での保育ができない児童を預かり、保育を実施した。 ・延長保育の実施 ⇒ 1時間から2時間、開所時間を超える延長保育を実施した。 ・病児保育の実施 ⇒ 病気やけがのため集団保育が困難な子どもを、一定期間専用施設で預かり、保育を実施した。 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ⇒ 子育て相互援助組織による地域の子育て支援を推進した。 <p>ひとり親家庭の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支給 ⇒ ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を目的に児童扶養手当を支給した。 ・母子家庭等自立支援給付金の給付 ⇒ ひとり親家庭で資格取得のために養成機関で修業した場合、生活費の一部や訓練講座受講経費の一部を補助した。 ・ひとり親家庭医療費の助成 ⇒ ひとり親家庭の父または母、その児童の医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	④出会い・結婚サポートの充実									
	KPI①：結婚支援制度を活用した成婚数（累計）	10件	-	0件	-	-	-	-	-	【KPI①】結婚相談所運営事業の実施によって12件のマッチングを行った結果、9組のカップルが成立したが、成婚に結びつかなかった。結婚相談所の会員（特に若年層の女性会員）数が少ないことが最大の要因である。今後は、結婚相談所の会員数増加に向けて、企業や団体との連携方法を検討する。
	主な取組	<p>結婚を希望する男女の出会いの場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談所の運営 ⇒ 結婚相談所を運営しマッチング、カップリングを実施した。 ・出会いの場づくりの応援 ⇒ はぎ縁結び応援団へ企画を募集し、採択された企画へ補助金を交付した。県内事業者へ委託して、婚活イベントを開催した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学生	90.0%	87.1%	-					-	
	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学生	85.0%	84.3%	-					-	
	①「志」教育の推進									
	KPI①：ひとづくりセミナーの参加者数（年間）	1,000人	-	1,210人	-	-	-	-	-	【KPI①】学校の理解、協力を得て、オンラインで開催できたことが要因である。今後も、オンライン開催について各校と調整していく。【KPI②】全ての小、中学校で学校・地域連携カリキュラムが作成され、それに基づいた教育活動が展開された。今後は、効果について評価を進め、工夫・改善を支援する。
	KPI②：地域の特色を生かしたカリキュラムを作成している学校の割合	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	
主な取組	<p>未来を切り拓くひとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 ⇒ 市民館で開催した。同時に市内中学・高校でオンライン開催した。 ・成人式の開催 ⇒ コロナの影響により次年度に延期した。 ・わくわくキッズフェスタ開催の補助 ⇒ 子ども達に様々な体験活動を楽しんでもらうイベントの開催を補助した。 <p>特色ある教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域連携カリキュラムの作成及び改訂 ⇒ 学校、家庭、地域が連携、協働して行うその地域及び学校ならではの特色ある教育活動をカリキュラムに整理することにより、関係者の目的や活動内容の共有につながった。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成									
	KPI①：中学校卒業時に英検3級以上を取得している生徒の割合	50.0%	30.8%	28.8%	-	-	-	-	-2.0%	【KPI①】コロナ禍で英語に係る事業が大幅に減り、英検3級取得率は微減であった。助成対象や回数の幅を広げることで、英検受検者を増やすとともに、英語に係る事業が実施できるよう、工夫する。【KPI②】コロナの影響を受け、国による全国学力・学習状況調査の実施がなかったため実績不明。
	KPI②-1：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生国語	上回る	上回る	-	-	-	-	-	-	
	KPI②-2：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生算数	上回る	下回る	-	-	-	-	-	-	
	KPI②-3：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生国語	上回る	上回る	-	-	-	-	-	-	
	KPI②-4：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生数学	上回る	上回る	-	-	-	-	-	-	
主な取組	<p>グローバル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成 ⇒ 英語を用いたコミュニケーション活動に積極的に取り組む生徒が増えている。 ・英語学習指導員の配置 ・英語教育研修会の開催 ⇒ 小学校教員を対象に開催した。 ・英語検定3級以上受検料の補助 <p>学力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複式学習指導員の配置 ⇒ 若手教員や複式指導未経験教員が効率的かつ短期間で複式指導のノウハウを習得できるようになった。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	③地域とともにある学校づくりの推進								【KPI①】 コロナの影響を受け、国による全国学力・学習状況調査の実施がなかったため実績不明。	
	KPI①-1：地域の行事に参加している児童生徒の割合 小学生	85.0%	81.4%		-	-	-	-		-81.4%
	KPI①-2：地域の行事に参加している児童生徒の割合 中学生	80.0%	72.7%		-	-	-	-		-72.7%
主な取組	コミュニティ・スクールの推進 ・コミュニティ・スクールの推進 ⇒ 地域や学校の特色を生かした教育活動の展開につながった。 ・コミュニティ・スクール関連経費への補助 ⇒ 会議開催経費や、地域との交流活動経費を補助した。 地域協育ネットの推進 ・地域協育ネットの推進 ⇒ 地域学校協働活動推進員を配置し、学校、地域、家庭が連携し、子どもたちの育ちを支援した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	④萩の未来を支える教育機会の充実								【KPI①】 GIGAスクール構想の加速化により、1人1台の端末が整備できた。今後は、児童生徒、教員のスキルアップを図るとともに、研修会等を開き、学力向上につながる活用を進める。【KPI②】 不登校等の解決に向け、ケース会議の開催や萩輝きスクールでの支援を手厚く行ってきた。今後も粘り強く支援を続けていくとともに、新規不登校を生み出さないよう、居場所づくりや魅力ある授業づくりに向けた支援を行う。	
	KPI①：児童生徒用コンピュータ整備の割合	100.0%	18.3%	100.0%	-	-	-	-		81.7%
	KPI②-1：児童100人当たりの不登校児童生徒の割合（小学校）	減少させる	0.48	0.18	-	-	-	-		0.3
	KPI②-2：生徒100人当たりの不登校児童生徒の割合（中学校）	減少させる	2.51	3.98	-	-	-	-		-1.47
主な取組	キャリア教育の推進 ・市内高校生への就業講話 ⇒ 市内高校生を対象に、職業講話を実施した。 ・萩・農下村塾の開催 ⇒ 児童生徒による農業体験を実施した。収穫することの喜びや農業の大変さ、苦勞を体感させることができた。 教育環境の充実 ・小、中学校の改修営繕 ⇒ 施設、空調設備の整備工事を実施した。LED設置工事を実施した。屋内運動場の予防保全工事を実施した。 ・教育用コンピュータの整備 ⇒ 一人一台端末を導入した。 相談体制、支援体制の充実 ・子ども相談・支援室、萩輝きスクールの運営 ⇒ 生徒指導上の課題に対応するため、ケース会議や萩輝きスクールでの支援を行った。 修学のための経済的支援 ・奨学金の給付 ⇒ 市内高校生、至誠館大学生、至誠館以外の大学生、萩看護学院生、萩看護学生、農業大学校生を対象に奨学金を給付した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	⑤その他全般的事項								【KPI①】 コロナ禍により多くのイベントが中止になったが、単年度の目標数値となる10事業への参画を達成した。今後も各機関と連携し、市の事業への高校生、大学生の参画を促す。	
	KPI①：高校生・大学生等が参画した市の事業数（累計）	50事業	-	10事業	-	-	-	-		-
主な取組	ひとづくり構想の推進 ・ひとづくり構想の推進 ⇒ 萩市ひとづくり構想推進委員会を開催し、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。 高等教育機関との連携 ・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。 ・<新規>はぎマルシェの開催 ⇒ 第6回のはぎマルシェでは、大学生に運営会議や当日の出店で参画いただいた。 ・萩城下町マラソンの開催 ⇒ 至誠館大学生から協力の申込があったが、コロナの影響により中止となった。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
KGI：納税義務者1人当たりの所得	2,659千円	2,591千円	2,449千円	-	-	-	-	-142千円	
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生									
KPI①：地域ブランド調査の食品想起率県内ランキング（ブランド総合研究所）	1位	3位	3位	-	-	-	-	0位	【KPI①】目標値の達成には継続した取組が必要であるため、引き続き食のポータルサイトやブランドパンフレット、ふるさと寄附等を通じて萩の食の魅力発信を行っていく。【KPI②～④】はぎビズの運営について、利用者の約9割の方から良い変化があったとの意見をいただいておりますが、コロナの影響で相談者の受入実績は目標を割り込むこととなった。新商品開発については、お土産コンテストの応募件数が昨年比60%減となったが、4件の新商品開発、販売につながった。今後は、「萩と言えば〇〇」といえるような、萩市を連想させる新商品のアイデアを募集するなど、本市の知名度をより高めることにつながる商品開発にも取り組む。キャッシュレス決済の実施率は、アフターコロナを見据えた導入により、15.89%と順調に進んでいる。今後は、市内中小企業者等へ意向調査を行うとともに、観光関連産業を中心に、更なるキャッシュレス決済等の導入促進に努める。
KPI②：はぎビズ相談件数（年間）	1,000件	-	607件	-	-	-	-	-	
KPI③：新商品開発件数（累計）	6件	-	4件	-	-	-	-	-	
KPI④：キャッシュレス決済の実施率	15.00%	11.28%	15.89%	-	-	-	-	4.61%	
<p>萩ブランドの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩・地域ブランドの構築 ⇒ 食のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体等による総合的な情報発信を行い、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。 <p>地場産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業長期経営安定資金の融資 ⇒ 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 ・起業化支援対策資金の融資 ⇒ 新たに事業を開始する中小企業者等に対し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 <p>中小企業の事業拡大等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等事業拡大補助金の交付 ⇒ 事業拡大へのチャレンジに補助金を交付し、販路の拡大、設備の充実及び広告宣伝等、経営力の向上を図った。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大や新サービス展開など、あらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 <p>拠点施設の整備・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の整備 ⇒ 道の駅萩往還の屋外公衆トイレ改修工事を実施した。道の駅あさひの生活拠点化を目的として、コンビニシステムを導入した。 									
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	<p>主な取組</p>								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	②起業・創業と企業誘致の推進									
	KPI①：中心市街地の空店舗活用件数（累計）	5件	1件	3件	-	-	-	-	2件	【KPI①～③】中心商店街の空き店舗を活用した新規創業が2件あったほか、萩市インキュベーションセンターの積極的な活用が見られた。はぎビズと連携した伴走型の事業者支援や創業支援を継続し、アフターコロナを見据え、事業者に必要な支援を実施する。
	KPI②：インキュベーションセンター利用件数（累計）	8社	-	5社	-	-	-	-	-	
	KPI③：新規起業件数（年間）	11件	6件	11件	-	-	-	-	5件	
主な取組	起業・創業支援の推進 ・萩市インキュベーションセンターの管理運営 ⇒ 地域産業の振興や起業・創業、企業誘致のさらなる促進のため、萩市インキュベーションセンターを運営した。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 ・創業セミナー等支援の実施 ⇒ 商工会議所等が実施する創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップに係る支援に対して補助を行った。									
	企業誘致の推進 ・企業誘致の推進 ⇒ IT関連企業2社のサテライトオフィス誘致を実現した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	③企業人材の育成と雇用拡大の支援									
	KPI①：萩市内企業の新規雇用者数（年間）	950人	883人	780人	-	-	-	-	-103人	【KPI①～④】高校卒業予定者と市内企業のマッチング支援に取り組み、43名の新卒高校生の市内就職に結びつけた。コロナの影響により市内事業者も雇用の維持・確保に苦慮されていることから、地域外からの人材確保を促進するため、やまぐち移住支援サイトへの登録強化と合同企業説明会への参加促進、企業ガイドブックの内容充実を実施し、引き続き、市内事業所の認知向上と地元就業者数の増加、企業人材の育成に取り組む。
	KPI②：やまぐち移住支援サイトへの登録企業数	20社	8社	9社	-	-	-	-	1社	
	KPI③：高校等卒業生の市内就職者数（年間）	50人	32人	43人	-	-	-	-	11人	
	KPI④：合同企業説明会参加企業数	30社	25社	24社	-	-	-	-	-1社	
主な取組	人材育成の推進 ・就業の促進 ⇒ 新規採用者等を対象とした研修を予定していたが、コロナの影響により開催を中止した。 ・産業人材育成塾の開催 ⇒ 熱中小学校萩明倫館実行委員会を設置し、チャレンジマインドの醸成を図った。									
	雇用拡大の支援 ・就業の促進 ⇒ 合同企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供するとともに、市内企業の魅力を伝える企業ガイドブックを制作した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
④力強い農林水産業の推進									
KPI：①集落営農法人連合体の組織数	3組織	2組織	3組織	-	-	-	-	1組織	【KPI①】 1組織が新たに設立した。集落営農法人の経営合理化の手法の一つとして、法人連合体の設立支援を行なっていく。 【KPI②】 1経営体が規模拡大を果たした。安定した繁殖経営を実現するため、畜産経営の外部環境を見定めながら規模拡大を支援していく。【KPI③】 豊富な森林資源を背景に、森林の団地化、主伐・再造林一貫作業の実証や木材の流通・販売体制の構築・強化を通じ、主伐による搬出材積量を徐々に増加させる狙いであり、順調に進んでいる。今後は、地元森林組合や製材事業者、県など関係者が連携して継続的に木材利用の促進を図る。【KPI④】 主要魚種であるあじ類の減少が主な要因と推測される。時化等による出漁回数の減少や水産資源の減少も要因と考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全・生産力の向上等を推進していく。
KPI：②飼養頭数（母牛）20頭以上に規模拡大する和牛繁殖農家数	2経営体	-	1経営体	-	-	-	-	-	
KPI：③搬出材積量（主伐、年間）	11,700m³	3,000m³	4,488m³	-	-	-	-	1,488m³	
KPI：④水産物水揚量（年間）	6,100t	6,041t	4,983t	-	-	-	-	-1,058t	
農地機能・農村機能の維持、農地集積・集約化の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等への直接支払 ⇒ 農地を守り農業生産活動を行う集落等に面積規模に応じて交付金を交付した。 ・多面的機能維持、発揮への支援 ⇒ 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能の維持、発揮のため、農業者と地域住民の共同活動を支援した。 ・機構集積協力金の交付 ⇒ 農地中間管理機構を活用した貸付、借受を支援した。 									
収益力の強化、担い手の経営発展									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者及び新規就農者の農業用機械等の導入経費を支援した。 ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・強い農業・担い手づくりへの総合支援 ⇒ 産地、担い手の状況に応じ、農業用機械、施設の導入を支援した。 									
有害鳥獣等の被害対策									
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止の総合対策 ⇒ 鳥獣被害防止対策事業費の一部を補助することにより、農業被害の軽減と所得の安定及び生産意欲の向上を推進した。 ・野猿被害軽減対策事業 ⇒ 被害軽減対策として、各猟友会に市内全域のサル捕獲業務を委託した。 									
農林水産品の生産振興、販売促進									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデル確立の支援（ソフト） ⇒ 付加価値を付けた農産物・農産加工品の販売を行う農業者等を支援した。特産品の開発を支援した。 ・<新規>はぎマルシェの推進 ⇒ 生産者と消費者の交流の場をつくり、生産者の販路拡大・所得向上や消費者の豊かな食生活を実現するための取組を支援した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施した。 ・萩の魚ブランド化推進協議会等への補助金 ⇒ 魚や須佐男命いかのブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・萩の魚販売促進等の支援 ⇒ 萩産の水産物を活用した商品開発やその販路拡大等に取り組む女性グループを支援した。 									
畜産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・資源循環型肉用牛の経営育成 ⇒ 水田を活用した資料作物の栽培、堆肥の処理散布を条件として、肉用牛の増頭に必要な施設整備の一部を補助した。 									
イベント等を通じた農林水産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩の魚ブランド化推進協議会補助金 ⇒ 魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・萩・魚まつりの開催 ⇒ コロナの感染拡大防止のため萩・魚まつりは中止したが、代替イベント萩の地魚グルメキャンペーンを実施した。 									
木材の活用を通じた持続可能な地域づくり									
<ul style="list-style-type: none"> ・林業6次産業化の推進 ⇒ 地域産木材の高品質な無垢材の商品開発、販売を行う体制構築、商品の販売を実施した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施した。 									
次世代まで幸せになる林業									
<ul style="list-style-type: none"> ・主伐・再造林モデルの実証 ⇒ 市有林にてコンテナ苗や高性能林業機械を活用した主伐と再造林の一貫作業の実証を実施した。 ・森、職、人づくりの推進 ⇒ 森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備を進めるために森林団地の形成を目指し、森林所有者の意向調査を実施した。 									

4 産業活力がふれるまちづくり

主な取組

水産資源の保全・生産力の向上

- ・水産多面的機能発揮対策事業負担金 ⇒ 藻場やヨシ帯の保全回復に取り組む漁業者等の活動を支援し、水産業の再生及び漁村の活性化を推進した。
- ・単独漁場改良造成等事業費補助金 ⇒ 白魚産卵漁場の改良造成、稚あゆ等の放流、アワビ等種苗の購入にかかる経費を補助した。
- ・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取り組みを行う漁業集落を支援した。
- ・阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金 ⇒ ヒラメ、アカアマダイ、カサゴの中間育成及び放流経費の一部を補助した。

農林水産施設の整備・運営管理

- ・農山漁業生活環境基盤の整備 ⇒ 衛生環境の向上を図り、安心安全な水産物の供給体制を整備するため、清浄海水殺菌装置の更新に対し補助を実施した。
- ・漁港の整備、機能増進 ⇒ 外郭施設・係留施設整備により、新定期船が着岸可能な施設整備を実施した。既存施設を最大限活用するため、施設の安全性を確保することを通じて漁港機能の増進を推進した。
- ・水産基盤ストックマネジメント ⇒ 施設の機能保全計画を策定し、計画的に保全工事を実施することで施設の長寿命化を推進した。
- ・海岸の保全 ⇒ 海岸保全施設の長寿命化を目的に、施設の老朽化調査及び保全計画を策定した。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
⑤地域産業の担い手・後継者育成									
KPI①：新規農業就業者数（累計）	40人	-	6人	-	-	-	-	-	【KPI①】年平均の8人に達しなかった。今後も、関係機関と連携し、地域農業の担い手確保に取り組んでいく。【KPI②】豊富な森林資源を背景に主伐等の林業事業量の増加が見込まれ、新規就業者の確保・育成も順調に進んでいる。今後も、林業経営体が行う雇用促進のための取組を支援するなど、就業者数の増加を図る。【KPI③】コロナの影響により、東京や福岡等の全国フェアに参加することができなかったが、今後も漁協や県等と連携し、新規就業者の確保・育成・定着に努めていく。【KPI④】コロナの影響で人の移動に対する不安の声があがったことから、システム改修のみ実施した。今後、コロナの影響を考慮した支援策を展開していく。【KPI⑤】4経営体が食味・収量センサコンバインやドローン、アシストーツなどを導入した。高齢化や人手不足などの課題を解決し、持続可能な農業を実現するため、スマート農機の導入を推進する。【KPI⑥】IT基礎知識を習得するためのeラーニングを提供した。高校生・大学生の受講生約100人。今後、対象を拡充し、社会人にもeラーニングを提供する予定。
KPI②：新規林業就業者数（累計）	5人	-	4人	-	-	-	-	-	
KPI③：新規漁業就業者数（累計）	40人	-	8人	-	-	-	-	-	
KPI④：農援隊による農繁期支援者数（累計）	100人	-	0人	-	-	-	-	-	
KPI⑤：スマート農業を導入した経営体数	5経営体	-	4経営体	-	-	-	-	-	
KPI⑥：IT企業と連携した人材育成カリキュラムの実施数（累計）	5回	-	1回	-	-	-	-	-	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	農林水産業の新規就業者の確保、育成、定着支援								
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農の総合支援 ⇒ 就農前の研修期間と経営が不安定な就農初期段階の所得を確保するための支援を実施した。新規就業者を雇用した農業法人を支援した。 ・農業スタートアップの応援 ⇒ 新規就農者の経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するため、準備金や家賃の一部を補助した。 ・林業スタートアップの応援 ⇒ 林業への新規就業者の確保・育成を図るため、就業準備の資金や賃貸住宅の家賃補助等の支援を実施した。 ・漁業スタートアップの応援 ⇒ 新たに漁業に就業した方に準備金を支給した。 ・新規漁業就業者の定着促進 ⇒ 長期漁業研修の受講者へ研修支援金を支給した。漁協が新規就業者等にリースするために漁船等を購入する際の費用や、研修生用に住宅整備をする際の経費を支援した。漁業会社等に研修経費を支給した。漁業経営を開始した方に自立化支援金を支給した。 								
	規模拡大や経営合理化への支援								
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・強い農業・担い手づくりへの総合支援 ⇒ 産地、担い手の状況に応じ、農業用機械、施設の導入を支援した。 								
	第一次産業のIoT化								
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農機の活用 ⇒ 人手不足解消や暗黙知の継承を支援した。 ・強い農業・担い手づくりへの総合支援 ⇒ 産地、担い手の状況に応じ、農業用機械、施設の導入を支援した。 ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者及び新規就農者の農業用機械等の導入経費を支援した。 								
	産業人材の育成、確保								
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成								
	KPI①：山陰道の事業化区間の延長	事業化区間	優先整備区間	事業化区間	-	-	-	-	-
主な 取組	高規格道路及び地域高規格道路の整備促進 ・山陰道の整備促進 ⇒ 大井～萩間、小浜～田万川間の2区間の令和3年度新規事業化を目指して要望活動を行った。令和3年度の新規事業化が決定した。								
5 魅力 ある 歴史・ 文化・ 自然 をいか した まち づくり	⑦その他全般的事項								
	主な 取組	旧明倫小学校の整備・活用 ・旧明倫小学校3、4号棟の整備 ⇒ 耐震化、外観修景、内装整備などを実施した。							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
5 魅力 ある 歴史・ 文化・ 自然 をいか した まち づくり	KGI：旅行消費額	143.4億円	131.5億円	94.8億円					-36.7億円
	①全国に誇る萩のまちなみの継承								
主な 取組	KPI①：歴史的景観保存地区内の修景助成件数（累計）	10件	-	1件	-	-	-	-	【KPI①】 申請によるため、年度によって件数は異なるが、老朽化した建築物や工作物が見受けられるため、今後は増加が見込まれる。【KPI②】 補助金などの支援、花いっぱい運動の推進による意識高揚の結果、前年比59人増、年間登録者数の平均（20人）を上回る増加となった。今後も応援隊に対する支援を継続し、花いっぱい運動を推進していきたい。
	KPI②：花と緑の応援隊登録者数（累計）	394人	294人	353人	-	-	-	59人	
主な 取組	歴史的景観の保存・活用 ・伝統的建造物群保存地区内の現状変更事務 ⇒ 申請、協議を処理した。 ・電柱の地中化 ⇒ 道路上の電柱の地中化を検討中である。 景観保全や景観形成の推進 ・歴史的景観保存地区の整備 ⇒ 歴史的景観保存地区における建造物等の修理修景に対して補助金を交付した。 花と緑の推進 <新規>・笠山椿群生林の再生保全 ⇒ 笠山椿群生林のヤブツバキの再生・保全のため、検討委員会を開催し、現状調査と再生試験を実施した。 ・花と緑の推進事業補助金 ⇒ 市民による花と緑の推進に対する補助、花と緑の応援隊への支援、花いっぱい運動の推進を行った。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり									
	KPI①：文化財公開活用施設の入館者数（年間）	262,000人	255,000人	125,190人	-	-	-	-	-129,810人	【KPI①、②】 コロナの影響により、観光旅行者の入込が大きく落ち込んだことが要因である。アフターコロナを見据え、各施設の魅力向上につながる取組を検討する。
	KPI②：文化財を活用したイベントの入込者数（年間）	151,000人	147,000人	56,495人	-	-	-	-	-90,505人	
	主な取組	世界遺産構成資産の保存・活用								
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動の実施 ⇒ 萩城跡において清掃活動を実施した。 ・帆船みらいへ招聘イベントの開催 ⇒ 道の駅萩シーマートに帆船みらいへを招聘する体験イベントを開催した。 ・恵美須ヶ鼻造船所跡発掘現場見学会の実施 ⇒ 帆船みらいへ招聘イベントにあわせて見学会を実施した。 ・世界遺産登録5周年萩観光キャンペーン ⇒ プロモーション、周遊促進、旅行商品造成支援、イベント支援を実施した。 ・世界遺産ビジターセンターの運営 ⇒ 世界文化遺産に関連する情報を発信した。 ・世界遺産登録5周年記念イベントの開催 ⇒ 萩の世界遺産探訪ツアー、第2回世界遺産ご当地フェアを開催した。 										
主な取組	文化財等の保存・活用									
	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文旧宅保存修理事業 ⇒ 屋根の葺き替えや痛みが著しい木部、壁、建具の修理工事を継続的に実施する。保存修理現場見学会を開催した。 ・文化財の活用 ⇒ 市内の文化財施設を会場に萩城下の古き雑たちを開催した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承									
	KPI①：新しいおたからの発見数（累計）	4,000件	3,464件	3,680件	-	-	-	-	216件	【KPI①、②】 112件のおたからカルテ作成、12件の活用イベント等開催など、ほぼ予定どおり取り組むことができた。【KPI③】 コロナの影響により、例年の1/3の入館者数となった。調査研究も活動を縮小した。コロナの影響を想定しつつ、アフターコロナを見据えた活動を展開していきたい。
	KPI②：おたから活用イベントの実施数（累計）	50件	20件	43件	-	-	-	-	23件	
	KPI③：萩博物館の入館者数（年間）	100,000人	88,234人	32,646人	-	-	-	-	-55,588人	
主な取組	萩まちじゅう博物館構想の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩まちじゅう博物館の推進 ⇒ おたからの調査などを行う団体を支援した。萩まちじゅう博物館構想とそれに付随する計画を改定した。 									
	萩博物館等の運営									
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展の開催 ⇒ 夏期特別展は、当初予定していた内容を回顧展に変更したうえ、入館制限を行った。 									
	調査研究の推進									
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書等の発行 ⇒ 過去5か年の成果をまとめた記念誌、各分野の成果をまとめた研究報告書を発行した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	④萩ジオパーク構想の推進									
	KPI①：萩ジオパーク推進協議会公認ジオツアー・体験プログラム参加者数（年間）	500人	181人	211人	-	-	-	-	30人	【KPI①、②】 コロナの影響を踏まえ、オンライン開催などの工夫をすることにより、前年比を上回った。今後は、パートナー制度を創設し活動の輪を広げるよう努める。
	KPI②：萩ジオパーク推進協議会公認現役ジオガイド・ジオプランナー数	20人	9人	12人	-	-	-	-	3人	
	市民への普及啓発の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 萩ジオeアカデミー講座、地球を食べる食堂、萩ジオパークフェアを開催した。出前講座を実施した。 ・萩市ジオパーク活動の補助 ⇒ 特定非営利活動法人萩元気食の会、萩ジオツーリズム協会の活動を補助した。 									
	環境保全や施設・展示の整備									
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオサイトの保全 ⇒ ジオサイトの草刈を実施した。 ・笠山展望台の整備 									
	情報発信の強化									
	<ul style="list-style-type: none"> ・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 協議会公式HPを改修した。 <新規>・PR動画によるプロモーション ⇒ 8K高画質PR動画を制作し、これを活用したプロモーションを展開した。 									
	ジオツアー等関連商品の開発									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ オンラインガイドツアー等を開催した。 ・関連団体による取組 ⇒ 各種ガイドツアーの開催、プログラムの造成等を実施した。 ・インタープリテーション講座 ⇒ オンラインにより開催した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進										
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	KPI①：来訪者満足度（おもてなし）	4.4	4.38	4.5	-	-	-	-	0.12	【KPI①、②】コロナ対策に取り組む安心安全宣言を行うことを登録条件とし、登録店舗に対して感染症対策を徹底させるとともに、クーポン券を配布し、市内周遊及び需要喚起を促進したことにより、満足度が上がった。おもてなし＝感染症対策の徹底と考え、登録店舗を訪問、追跡調査を行うとともに、独自の対策をしている店舗はHPにより紹介した。おもてなし接遇講座等を実施した。【KPI③】県内や近県を中心に、学校数では前年比約4倍、生徒数で約1.6倍となる修学旅行生が訪れたこともあり、新規来訪者は47.3%となった。観光協会HPへのアクセス数1位の都道府県は山口県であり、コロナ禍により近隣観光需要が増加しているといえる。アンケートによると、家族で訪れた方が72%を占めた。今後は、アフターコロナにおける観光ニーズに対応した受入環境の整備や、ジオパーク、サイクリング等の体験を提供できる仕組みを構築し、滞在型観光の推進に取り組む。
	KPI②：来訪者満足度（宿泊施設）	4.4	4.3	4.39	-	-	-	-	0.09	
	KPI③：リピーター率	69.0%	65.4%	52.7%	-	-	-	-	-12.7%	
	滞在型観光の仕組づくり									
	<p><新規>・安心安全な観光地づくり ⇒ 感染対策を実施する観光関連施設で利用可能なクーポン券を配布した。</p> <p><新規>・魅力ある観光コンテンツの造成支援 ⇒ 萩市の自然・文化・食等を活用した、付加価値の高い体験コンテンツを造成、販売する事業者を支援した。</p> <p><新規>・世界遺産登録5周年萩観光キャンペーン ⇒ 周遊促進を実施した。</p>									
	観光情報発信の強化									
	<p><新規>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</p> <p>・魅力あるパンフレット作成・食情報の発信 ⇒ 観光パンフレット等を発行した。旬の地元食材を提供した。</p>									
	観光受入体制の充実									
	<p>・観光客の受入環境整備 ⇒ 観光客の満足度や回遊性が高まるよう、観光地の基盤整備に取り組んだ。</p> <p><新規>・周遊サイクリングの実施 ⇒ 道の駅ゆとりパークたまたがわを拠点にモデルコースの設定、レンタサイクルを実施した。</p>									
	観光マーケティング調査									
<p>・観光動向の調査 ⇒ 観光客への聞き取り調査や、観光地での数取り調査を実施。</p>										
観光施設等の運営・維持管理										
<p>・観光施設運営 ⇒ 清掃業務の委託、観光施設の維持管理、海水浴場の開設等を実施した。</p> <p>・萩・明倫学舎に係る取組 ⇒ NPO萩明倫学舎と協働し、管理運営した。誘客イベントを開催した。キャッシュレス決済を導入した。感染防止対策を実施した。</p>										
観光誘客イベントの充実										
<p>・萩づくりイベントの支援 ⇒ 周遊観光バスを運行し、感染症対策を講じた上で、萩・椿まつりを開催した。</p> <p><新規>・世界遺産登録5周年萩観光キャンペーン ⇒ 世界遺産に関連して実施される観光イベントに補助金を交付した。</p>										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	⑥観光客誘致の積極展開									
	KPI①：観光入込客数（年間）	5,000,000人	4,506,575人	3,199,061人	-	-	-	-	-1,307,514人	【KPI①】 コロナ禍により前年比71.0%。緊急事態宣言下の4月から6月の観光入込客数は前年比33.6%、夏にかけて徐々に回復に向かい、7月から9月は69.5%、10月から12月は86.1%まで回復した。引き続き、感染防止策の徹底と観光需要の回復に注力する。【KPI②】 前年比3.5%まで落ち込んだ。大型客船の寄港もすべてキャンセルとなった。アフターコロナを見据え、今後も受入態勢の整備と情報発信に努める。【KPI③】 コロナ禍により前年比64.6%。緊急事態宣言下の4月から6月の宿泊客数は前年比12.7%、夏にかけて徐々に回復に向かい、7月から9月は67.0%、10月から12月は101.1%と前年比増まで回復した。引き続き、感染防止策の徹底と観光需要の回復に注力する。【KPI④】 交通系ICカードは、令和3年3月から利用開始されたため、利用実績はほぼ無い。今後、事業実施主体の中国ジェイアールバスとPRに努める。
	KPI②：外国人観光客数（年間）	29,000人	14,600人	516人	-	-	-	-	-14,084人	
	KPI③：宿泊者数（年間）	470,000人	405,409人	261,771人	-	-	-	-	-143,638人	
	KPI④：交通系ICカードの利用者率	50.0%	-	0.0%	-	-	-	-	-	
	主な取組	観光宣伝の推進								
		<p><新規>・世界遺産登録5周年萩観光キャンペーン ⇒ テレビCM放映、インターネットSNS広告など、プロモーションを実施した。</p> <p><新規>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</p> <p>・観光施策負担金、補助金 ⇒ 他の観光地や団体へ負担金を支出し、観光情報の発信力を高めることで、本市の認知度向上、観光客の誘致拡大に取り組んだ。</p>								
		インバウンドの推進								
	主な取組	<p><新規>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</p> <p>・外国人観光客の誘致拡大 ⇒ JNTOのグローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業を活用し、商品造成可能なコンテンツ開発を行った。</p> <p>・IoTなどを活用した新サービスの創出等の支援 ⇒ 公衆無線LAN設備、クレジットカード・電子マネー決済機器等を整備した。</p>								
		アクセスの充実								
<p>・萩－新山口間直行バスの運行助成 ⇒ JR新山口駅と萩を結ぶ直行バススーパーはぎ号の運行事業者に対し補助を行い、運行を継続させた。</p>										
⑦その他全般的事項										
主な取組	旧明倫小学校の整備・活用									
	<p>・旧明倫小学校3、4号棟の整備 ⇒ 耐震化、外観修景、内装整備などを実施した。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比				
6	KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	30.7%					-			
生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	①暮らしに密着した交通網の形成											
	KPI①：まあーるバス利用者数（年間）	238,000人	213,943人	155,791人	-	-	-	-	-58,152人	【KPI①～②】まあーるバスの利用実態は、市外来訪者が概ね16%となっており、コロナによる観光利用の減少が大きな要因と考えられる。ぐるっとバスは、地域内の移動手段として運行していることから、コロナの影響は少なく、運行形態を見直した地域では利用者数が大きく増加した。利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、まあーるバスの運行ルートとぐるっとバスの運行形態の見直しを進める。		
	KPI②：ぐるっとバス利用者数（年間）	24,000人	13,383人	23,295人	-	-	-	-	9,912人			
	主 な 取 組	持続可能な公共交通ネットワークの形成										
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域巡回バスの運行 ⇒ 交通空白地域を含め、地域内の移動手段として、利便性の向上を図りながらぐるっとバスを運行した。 ・交通ネットワークの再構築 ⇒ 路線バス撤退に伴い、地域内の移動手段を確保するため、生活バス、乗合タクシーを運行した。 ・総合時刻表等の作成 										
		市内巡回バスの維持・充実										
<ul style="list-style-type: none"> ・まあーるバスの運行 ⇒ 運行支援事業補助、利用促進事業補助など実施し、市民、市外来訪者の市街地における移動手段としてまあーるバスを運行した。 												
地方バス路線の維持・充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・地方バス路線の補助 ⇒ 交通事業者へ路線バスを維持するための支援として補助金を支出した。 ・交通系ICカードシステム導入の支援 ⇒ 交通事業者へ利便性向上に対する支援を実施した。 												
離島航路の維持・充実												
<ul style="list-style-type: none"> ・離島航路等への補助 ⇒ 事業者へ離島航路を維持するための支援を実施した。航路運賃低廉化事業を行った。 												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性			
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比				
6	②生活サービス機能の維持・向上											
生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	KPI①：道の駅の来訪者数（年間）	2,614,000人	1,965,000人	2,177,849人	-	-	-	-	212,849人	【KPI①】施設整備により、利便性を上げることができた。今後も地域の生活拠点整備に取り組む。【KPI②】行政、教育、商業、交通など高次都市機能の喪失はない。引き続き、福祉、医療、商業施設などの誘導区域内への誘導や、既往施設の維持を推進し、集積率の向上に努める。【KPI③】9基の携帯基地局を整備し、不感エリアを大幅に解消することができた。今後も国の補助金等の利用を含め、各キャリアへ要望を行っていく。		
	KPI②：都市機能誘導区域内における誘導施設の集積率	49.0%以上	49.0%	49.0%	-	-	-	-	0.0%			
	KPI③：携帯電話不感エリアの夜間人口	8人	59人	7人	-	-	-	-	52人			
	主 な 取 組	小さな拠点づくりの推進										
		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の整備 ⇒ 道の駅萩往還の屋外公衆トイレ改修工事を実施した。道の駅あさひの生活拠点化を目的として、コンビニシステムを導入した。 										
		都市計画等の策定・推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン等の見直し ⇒ 新たな都市計画マスタープランを策定するため、住民アンケート、課題の整理、見直し方針の検討を実施した。 												
情報通信基盤の向上												
<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバーの整備 ⇒ 高速・大容量の情報通信を可能とする光ファイバー網整備による情報通信基盤の地域間格差の解消に向けて取り組んだ。 ・携帯電話エリアの整備 ⇒ 基地局及び伝送路を整備し、その施設を通信事業者に貸与することにより、携帯電話の不感地域を解消した。 												

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	③持続可能で快適な環境づくり									
	KPI①：公共下水道整備率	95.0%	76.6%	77.6%	-	-	-	-	1.0%	【KPI①】概ね計画どおり進捗している。今後も計画的に整備を進めていく。【KPI②】管路の更新については、国県事業（道路改良事業等）の進捗状況により、一部未実施となった区間もあったが、耐震化率は向上している。引き続き、萩市水道事業ビジョンに基づき、水道管路の耐震化率の向上に努めていく。【KPI③】迅速かつ継続的な助言・指導により増加した。今後も引き続き同様の取組を実施する。【KPI④】計画的に事業を実施しているが、単年度0.25kmの目標に対し、実績0.18kmとなっているため、今後は、目標値の達成を目指し、予算の確保を行う。
	KPI②：水道管路の耐震化率	14.3%	12.0%	12.9%	-	-	-	-	0.9%	
	KPI③：市内老朽危険空き家解消件数（累計）	160件	128件	175件	-	-	-	-	47件	
	KPI④：側溝のがたつき解消（延長）（累計）	1.25km	-	0.18km	-	-	-	-	-	
	公共施設等の維持管理									
	<ul style="list-style-type: none"> 萩市公共施設長寿命化計画（仮称）の策定 ⇒ 令和3年度に萩市公共施設等総合管理計画、萩市公共施設長寿命化計画（仮称）を策定予定。地域別の公共施設適正化（再配置）計画については、令和4年度以降に策定予定。 市営住宅の予防保全 ⇒ 萩市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅を長期的に活用していくための個別改修や長寿命化型改修を実施した。 									
	上下水道設備の維持管理									
	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業 ⇒ 配水管の耐震化と改良、施設整備を実施した。 下水道事業 ⇒ 面整備を進めるとともに、第5次萩市污水处理施設整備構想の策定を行った。 									
	道路施設、河川の維持管理									
<ul style="list-style-type: none"> 河川の維持管理 ⇒ 河川浚渫計画を作成し、計画的に浚渫を実施している。計画的に護岸改修も実施中である。 道路施設の維持管理 ⇒ 側溝整備計画を作成し、計画的に側溝整備を実施している。舗装・交通安全施設についても、計画的に実施している。 										
適正なごみ処理の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 萩・長門清掃一部事務組合負担金 ⇒ ごみの適正処理や減量、資源化を推進する萩・長門清掃工場はなもゆの運営等に係る経費を負担した。 漂流、漂着ごみの一掃事業 ⇒ 萩市海岸線の景観美化及び環境保全を図るため、海岸に漂着したごみの回収・処理を行った。 										
空き家対策の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 老朽危険空き家除却促進事業補助金 ⇒ 悪影響が高い空き家について、適正管理を行うよう助言等を行った。危険空き家の解体工事等の経費を支援した。 										
民間木造住宅耐震化の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 民間木造住宅耐震診断、耐震改修の促進 ⇒ 民間木造住宅の耐震化向上を目的に、耐震診断及び耐震改修に対する補助を行った。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	④防災体制の強化								
	KPI①：自主防災組織による訓練実施地区数（旧小学校区）	21地区	5地区	2地区	-	-	-	-	-3地区
	KPI②：消防団員の教育・訓練の実施件数（年間）	135回	113回	78回	-	-	-	-	-35回
	主な取組	<p>地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マネージャーの設置 ⇒ 防災訓練の立案と実行、住民への啓発活動、防災計画の見直し、災害発生時の関係機関との連携強化のため、設置した。 ・防災訓練の実施 ・防災リーダーの育成、訓練の実施 ⇒ 地域防災マネージャーを活用して、地域防災リーダー養成研修、ステップアップ研修を実施した。 <p>避難所機能、防災設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の機能強化 ⇒ 非常食、簡易トイレ袋、アルミマット、間仕切り、着替え用テント等を整備した。 <p>消防機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の訓練 ⇒ 消防操法訓練は中止となったが、各分団ごとに必要な教育・訓練を実施するなど、消防力の強化に努めた。 							<p>【KPI①】 コロナの影響により、自主防災組織による訓練が中止となったため減少した。また、町内会活動の自粛により、自主防災組織の立ち上げも困難な状況である。今後は、アフターコロナを見据え、各種媒体を活用した啓発活動を実施し、訓練実施地区数の増加に努める。【KPI②】 消防操法大会が中止になったことにより、操法関連の訓練が中止となるなど、長期にわたるまとまった訓練が困難となり、訓練実施件数が減少した。反面、各分団ごとに必要な訓練を実施することで、より充実した訓練ができ、消防力の強化につながった。コロナの影響が続く間は、感染予防に配慮しながら各分団ごとの訓練を検討していく。</p>

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	⑤地球にやさしい環境づくり								
	KPI①：ごみリサイクル率	28.0%	22.0%	23.9%	-	-	-	-	1.9%
	KPI②：エコプラザ萩の来場者数（年間）	10,500人	10,000人	8,559人	-	-	-	-	-1,441人
	KPI③：清掃工場に搬入される事業系ごみ量（年間）	4,454t	4,688t	4,713t	-	-	-	-	25t
主な取組	<p>ごみ減量化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発講座の開催 ⇒ 定期講座、パッチワーク講座、みつろうラップ講座、リサイクル洋裁講座を開催した。 ・3Rの促進 ⇒ 補助金等の支出により、生ごみの減量化と古紙の再生促進を行った。不用品の再生、販売を行った。 <p>低炭素（地球温暖化対策等）の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの育成 ⇒ 日差しを和らげ、エアコンの使用抑制を図る。PRのため、市役所本庁舎に緑のカーテンを育成した。 ・公共交通の利用促進 ⇒ 毎月ノーマイカーデーを実施、排気ガスの排出抑制に取り組んだ。 							<p>【KPI①～③】 ごみリサイクル率上昇の要因は、ごみ減量化の推進の成果が表れたことである。エコプラザ萩の来場者数減少の要因は、コロナ禍により、啓発講座等の活動において参加人数が制限されたことである。事務系ごみ量増加の要因は、事業者への啓発が不十分だったことである。今後も、ごみの地産地消、3R及び3きり（使いきり、水きり、食べきり）を推進する。</p>	

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	19.7%						
7	①市民との協働による元気なコミュニティづくり								
だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	KPI①：市民活動センター「結」の利用者数（年間）	10,700人	10,698人	9,216人	-	-	-	-	-1,482人
	KPI②：審議会等への女性委員の参画率	40.0%	38.5%	37.8%	-	-	-	-	-0.7%
	自治組織等との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの推進 ⇒ 町内会等運営費補助金、地区集会所建設費補助金、広報等配布事務費交付金、防犯外灯設置費補助金を支出した。 ・行政推進員の設置 ⇒ 地区住民と行政との連絡調整を行うため、各町内会等に行政推進員を設置した。 							
	市民活動団体の活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターの管理運営 ⇒ 市民活動の振興とネットワークづくりの推進を図った。施設が老朽化しているため、今後の維持管理等について検討する。 							
	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体の支援 ⇒ 萩市女性団体連絡協議会を設置し、市内女性団体の相互連携を図ることで、女性の社会参画を推進した。 ・女性相談に係る取組 ⇒ 女性相談窓口に女性相談員を配置し、解決に向けた支援を行った。暴力の予防を目的として啓発活動や情報提供を行った。 ・男女共同参画社会の推進 ⇒ 萩市男女共同参画プランに基づき男女共同参画を推進した。 							
	消費者行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政の推進 ⇒ 消費生活相談員を配置し、消費者被害の未然防止と救済、トラブル解決に向けた支援を行った。消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を実施した。 ・消費者の育成 ⇒ 消費生活モニターを委嘱した。消費生活モニター通信を発行し、HPへの掲載等を行った。 							
	安心・安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴に係る取組 ⇒ 無料法律相談、消費生活無料相談を実施した。萩法律相談センターの運営経費に対し補助金を支出した。 ・交通安全の啓発 ⇒ 各種媒体を活用して広報活動を行った。交通安全運動を積極的に推進するため、関連機関へ補助金を支出した。 ・防犯対策 ⇒ 安全安心推進員を設置し、地域住民の要望、意見、相談に対応した。関係機関と共同で広報啓発及び実践活動を行うため、負担金を支出した。令和3年度に再犯防止推進計画を策定予定。 							
	地域コミュニティ組織の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・萩地域コミュニティへの補助 ⇒ 萩地域子ども会育成連絡協議会及び婦人会の活動に対して補助をした。 ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 							
	主 な 取 組	<p>【KPI①】策定時の値から1,482人の減少となった。主な理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。今後は、コロナの収束が見えない状況ではあるが、新しい生活様式の実践により、例年行っているイベントや研修会等を開催し、利用者数の増加を図る。また、施設の利用を促進するため、情報提供を積極的に行う。【KPI②】各審議会等における女性登用数の微増減等により、最終的には策定時の値からマイナス0.7%となったが、ここ数年の女性参画率を見ると37%～38%台で推移していることから、高い数値を保っていると言える。令和3年度に萩市男女共同参画プランの改訂を予定しており、引き続き目標値の40%に向け市関係各課に積極的な女性登用を依頼していく。</p>							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	②萩の魅力をかきた移住・定住									
	KPI①：移住相談件数（年間）	600件	528件	721件	-	-	-	-	193件	【KPI①、②】コロナの影響により、移住や地方でのテレワークを希望する方からの問い合わせが増えており、移住相談件数と移住世帯数ともに、昨年を大きく上回る数値となった。今後は、令和2年度より開始した移住スカウトサービスSMOUTを活用した取組についても幅広く展開し、関係人口のネットワーク構築を目指す。【KPI③】地域おこし協力隊の退任後の定住率は高い水準となっていることから、今後、現状維持を目指す。
	KPI②：定住相談窓口を通じた移住世帯数（累計）	400世帯	251世帯	339世帯	-	-	-	-	88世帯	
	KPI③：地域おこし協力隊員の退任後の定着率	70.0%	50.0%	73.9%	-	-	-	-	23.9%	
	移住相談体制の充実	・萩暮らし応援センターの体制強化 ⇒ 移住支援員を増員し、移住定住総合相談窓口の体制強化を図った。新たに、オンラインによる移住相談の受付や空き家案内を実施した。								
	移住体験の推進	・萩暮らし体験の推進 ⇒ 自宅にいながら地方暮らし気分を味わえるオリジナルのオンラインツアーを実施した。お試し暮らし住宅の管理、運営を実施した。								
	移住者向け住環境の整備	・空き家情報バンクの利用 ⇒ 空き家情報バンクを利用した移住者数が過去最高となった。 ・各種移住支援制度 ⇒ 移住支援のための各種補助制度の新設及び拡充により支援体制の充実を推進した。								
	地域おこし協力隊の活動・定着の推進	・地域おこし協力隊の設置 ⇒ 新たに8名委嘱した。退任した5名のうち4名が萩市に定住した。								
	関係人口の創出	<新規>・関係人口構築の促進 ⇒ 移住スカウトサービスSMOUTの活用やオンライン相談会を開始し、地域課題の解決に必要な人材の確保に取り組んだ。関係人口創出のため、「関係人口の使いかた」について学ぶワークショップを開催した。ローカル情報の編集・発信を行うローカルエディターを育成した。 <新規>・PR動画によるプロモーション ⇒ 県内自治体としては初となる超高画質8Kで移住、定住をテーマとしたプロモーション動画を制作した。								
	移住者の就業・創業の推進	・はぎビズの活用 ⇒ 伴走型の事業者支援を行うはぎビズを介して、移住者の創業を支援した。								
農山漁村交流の推進	・萩市農山漁村交流プロジェクトの推進 ⇒ 第一次産業の資源を活用した都市と農山漁村の交流事業に取り込む萩市ふるさとツーリズムを推進した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
7 だから愛されるまち、求められるまちづくり	③市民一人ひとりが輝くまちづくり								
	KPI①：公民館の実施する講座・教室等の参加者数（年間）	12,000人	11,918人	6,023人	-	-	-	-	-5,895人
	KPI②：スポーツイベントの参加者数（年間）	6,000人以上	5,700人	200人	-	-	-	-	-5,500人
	KPI③：読書通帳登録者数	5,700人	5,222人	5,832人	-	-	-	-	610人
	主な取組	文化イベントの開催や文化活動の普及・振興							
		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の振興 ⇒ 萩市美術展を開催した。全国大会に出場した団体、個人に対して助成した。 ・読書の普及 ⇒ 講座やイベント等を実施し、読書通帳、電子図書館、貸出カードの新規登録につなげた。 							
		スポーツイベントの開催、生涯スポーツの普及							
		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の補助 ⇒ コロナに負けるな がんばろう萩！ワンデーウォークを開催した。コロナに負けるな がんばろう萩！城下町マラソン大会は中止になった。 							
		地域コミュニティの拠点施設、文化施設、スポーツ施設の管理運営							
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種施設の運営、維持管理 ⇒ 公民館の各種学級や講座の開設等を行った。萩市民館等の維持管理、福栄総合事務所の解体等を行った。 ・図書館の運営 ⇒ NPO萩みんなの図書館と市の協働により運営した。 							
東京2020オリンピック・パラリンピック（ホストタウン）レガシーの継承									
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックの推進 ⇒ 機運醸成のため、阿武川を訪れた方が気軽にカヌーを体験できるよう、カヌー体験教室を実施した。 									
人権啓発、人権教育の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・人権の心をはぐくむ市民の集いの開催 ⇒ 人権の花運動活動報告、人権講演会等容を開催した。 ・人権教育の推進 ⇒ 市内を巡回して行う研修や、体験、交流活動等を主とした研修を実施した。指導者養成の講座を開催した。 									
子ども・若者の社会参加支援の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援の推進 ⇒ 世代を問わないひきこもりに特化した相談受付窓口を開設し、チラシ配布やホームページなどで周知・支援を行った。 ・子ども、若者への総合支援 ⇒ 学習支援や就労支援などの支援を行うため、居場所づくりを実施した。就学、就労など社会参加や社会的自立に向けた支援を行う萩市子ども・若者総合サポート会議を運営した。 									

【KPI①】要因は、コロナの感染拡大防止対策で閉館や人数制限等を実施したことである。引き続き、安心・安全に利用できるよう対策を講じていく。【KPI②】コロナの影響で大会、イベントがほぼ中止となり、大幅な目標比減となった。今後は感染状況を考慮しつつ、小規模でも開催できる方法を模索する。オリンピックのパブリックビューイングを実施し、機運醸成を図るとともに、ジャパンカップ等の大会を開催していく。【KPI③】移動図書館の巡回時や10ヶ月児健康相談などで読書通帳の登録を勧めていることが要因である。卒園後も読書通帳を活用してもらえよう利用促進に努める。NPO萩みんなの図書館との協働で読書普及のための行事や展示を継続して行う。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比	
7 だから愛されるまち、求められるまちづくり	④地域の特色をいかしたまちづくり								
	KPI①：夢プランに基づく実証事業の実施件数	28事業	18事業	22事業	-	-	-	-	4事業
	KPI②：夢プランの事業化と事業の継続件数	12事業	0事業	14事業	-	-	-	-	14事業
	主な取組	地域振興計画「夢プラン」の策定、推進							
		<ul style="list-style-type: none"> ・夢プランに係る取組 ⇒ 1地区で策定した。夢プランに基づく実証事業を実施した。夢プランの事業化と事業の継続を実施した。 ・阿武川ダム湖活用地域の活性化 ⇒ 阿武川ダム湖を活用した地域活性化を図るため、ダム湖への進入路を延長する工事を実施した。 							
魅力ある地域づくりの推進									
魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。									

【KPI①、②】夢プランは住民主体の活動計画であり、地域によって取組に事業規模の大小や濃淡はあるが、積極的に取り組まれている。令和元年度の策定地域は、コロナの影響により活動ができないなど困難な状況であった。今後も住民の意見を聴き、必要に応じてプランの支援を行う。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比			
7 だから愛されるまち、求められるまちづくり	⑤魅力ある離島の発展										
	KPI①：見島・大島・相島の水産物水揚量（年間）	3,500t	3,303t	2,559t	-	-	-	-	-744t	【KPI①】大島の水揚量減少が主な要因と推測される。時化等による出漁回数の減少や水産資源の減少も要因と考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、生産力の向上等を推進していく。【KPI②、③】コロナの感染拡大防止策としての渡航自粛が大きく影響したと考えられる。また、貨物輸送においてもコロナの影響は考えられるが、公共工事事業の減少も影響している。現在の相島定期船は就航後30年以上が経過していることから、新船建造を計画している。新船は、フェリー化やバリアフリー化等により、利用者数の増加を図る。	
	KPI②：離島航路利用者数（年間）	160,000人	147,000人	110,959人	-	-	-	-	-36,041人		
	KPI③：離島航路貨物輸送量（年間）	6,500t	6,000t	4,453t	-	-	-	-	-1,547t		
	主な取組	離島高校生の修学支援									
		・離島高校生の修学支援 ⇒ 離島に住む高校生の保護者に、本土への通学費や居住費などを対象とした修学に係る経費を支援した。									
		離島航路の維持									
		・離島航路の維持 ⇒ 離島において必要不可欠な離島航路を運営する事業者への支援を実施した。									
	主な取組	離島の漁業振興									
		・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取り組みを行う漁業集落を支援した。									
特定有人国境離島の支援充実											
・見島の産業振興 ⇒ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、見島の戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。											
主な取組	大島複合施設の整備										
	・大島複合施設の整備 ⇒ 行政、地域コミュニティ、医療、福祉の拠点となる複合施設の整備工事を進めた。										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	策定時比			
7 だから愛されるまち、求められるまちづくり	⑥その他全般的事項										
	KPI①：都市・国際交流事業の参加者数（年間）	500人	300人	10人	-	-	-	-	-290人	【KPI①】コロナの感染拡大の影響を受け、国内外の交流イベントが中止となったことが要因である。今後もオンライン会議や物産交流など、コロナ禍においても実施可能な交流を継続する。【KPI②】単年度での目標は達成しているが、コンビニでの証明書発行が可能なことをPRするなど、交付率を上げるための取組を検討する。	
	KPI②：マイナンバーカード交付率	88.1%	12.9%	31.6%	-	-	-	-	18.7%		
	主な取組	都市・国際交流の推進									
		・都市交流 ⇒ 姉妹都市である石川県輪島市とウェブミーティング、両市工芸品の贈呈、道の駅の物産交流を実施した。									
		・国際交流 ⇒ 国際交流員による英語講座、異文化交流会等を実施した。									
		市民サービスの利便性向上									
	主な取組	・利便性の高い証明発行等 ⇒ 越ヶ浜郵便局で公的証明書の交付のみならず、飼い犬の登録の受付など、行政サービスを受けられるよう準備を行った。									
		・受付の延長 ⇒ 毎週木曜日午後7時まで、年末、3月末と4月初めに市民課窓口の受付を延長した。									
		マイナンバーカードの普及と活用									
・個人番号カードの交付 ⇒ 出前講座や出張申請受付、窓口での無料写真撮影を実施し、申請を支援した。											
主な取組	・各種証明書のコンビニ交付										

令和2年度 地方創生推進交付金 効果検証シート

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
1	【推進交付金】 「大人の社会塾」 を中心とした人材 育成による地域 活性化事業 【事業開始:R1】	1,924	1,867	962	産業人材育成塾開催事業	「大人の社会塾」を中心とした人材育成による地域活性化事業	参加者数(受講者、講師等)	R3.3	760人	400人	産業戦略室
2	【推進交付金】 「関係人口」創出 による移住・定住 促進～関係人口 構築促進事業～ 【事業開始:R2】	4,642	2,321	2,321	関係人口構築促進事業	【移住スカウトサービス「SMOUT」の活用によるプロモーション事業】 移住スカウトサービス(SMOUT)を活用によるネット関係人口の構築。 【人材育成事業】 関係人口創出に必要な「地域コミュニティ醸成」と「受け皿となるチームづくり」を兼ねたワークショップを開催。 また、ローカル情報の編集と発信ができる地域おこし協力隊(ローカルエディター)の育成。	相談窓口を通じた移住者の数 移住相談件数 移住スカウトサービス「SMOUT」を通じて萩を訪問した人の数	R5.3	68人 628件 50人	76人 1,241件 43人	おいでませ、 豊かな暮らし 応援課
3	【推進交付金】 ～維新の風を再 び!!～萩市雇 用・就業環境改 革総合強化事業 【事業開始:H30】	36,268	25,392	16,384	勤労者等支援事業 就業促進支援事業 中心商店街賑い創出店舗 活用事業 起業化支援事業 萩・地域ブランド構築事業 中小企業チャレンジ支援事 業 はぎビズ運営事業	【人材育成研修事業】 新規採用者を対象とした研修を実施。(新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。) 【就業促進事業】 ・萩・維新ふるさと企業説明会 企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供する。 ・萩市ものづくりイベント支援事業 萩市ものづくりイベント開催を支援し、ものづくりの技能をアピールする。(新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。) 【賑い創出店舗活用事業】 市内の空き店舗等を活用して出店する事業者に対し、店舗改装費及び開店広告費等、出展に要する経費の一部を補助。 【創業セミナー等支援事業】 創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップを実施。 【起業化支援事業】 ・萩ビジネスプランコンテスト実施事業 独創性や地域貢献性の高い事業内容により起業する者や、他分野へ事業拡大を図る事業者を募集し、ビジネスプランコンテストを実施。 ・萩・学生ビジネスプランコンテスト実施事業(新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。) 【萩市産品販路拡大事業】 ・萩ブランド再構築プロジェクト作成業務 萩市の地域資源を調査・選定し、萩ブランドを再構築。 ・中小企業等事業拡大(チャレンジ)補助金制度 事業拡大や販路拡大を行う事業者に対し、対象経費の1/2を補助。 ・萩・新お土産コンテスト実施事業 地域資源を活用したお土産づくりの促進のためのアイデアの募集し、コンテストを実施。 【はぎビズ運営事業】 萩市ビジネスチャレンジサポートセンターを運営し、中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続して支援。	萩市企業の新規雇用者数 萩市での起業者数 新たに開発された地域ブランド数 萩市への観光客数	R3.3	927人 11件 6件 5,043,776人 (旧2,680,000人)	780人 11件 12件 3,199,061人	商工振興課

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
3	【推進交付金】 ～維新の風を再び！！～萩市雇用・就業環境改革総合強化事業 【事業開始:H30】	36,268	25,392	16,384	企業立地推進事業	【企業立地推進事業】 都市部でのIT展示会に出展しPR活動を実施。(新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止のため未実施。) 【グローバルIT人材育成事業】 定期的なプログラミング教室等を支援し各年代に必要なIT学習環境を整える。	-	R3.3	-	-	企業誘致推進課
4	【推進交付金】 「萩・林業再生」 林業6次産業化による循環型の地域づくり事業 【事業開始:H30】	19,961	10,000	9,980	林業6次産業化推進事業	【地域商社を通じた林業6次産業化による循環型の地域づくり事業】 地域商社の設立、市内事業者と連携した市産材商品の生産・販売、地域商社のコンセプト等を紹介するコンテンツ制作。 【地域林業体験プログラム事業】 市内学校向けの林業体験プログラムの実施。 【地域森林資源の多様な利用促進事業】 地域の森林資源利用に関するイベント等の実施。 【林業6次産業化検討委員会運営業務】 林業の6次産業化に向けた事業の進捗の把握及び方向性の検討を行う検討委員会の開催。	本事業に関連した林業算出額 新たな林業6次産業化事業体(地域商社)及びその準備組織における売上高 本事業に関連した林業関係の新規就業者数 地域の森林資源を利用した体験・交流プログラムへの参加人数	R3.3	41,500千円 6,500千円 8人 60人	47,894千円 7,474千円 8人 104人	林政課
5	【推進交付金】 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり 【事業開始:R1】	33,929	21,451	16,965	観光施策負担金・補助金事業 萩版DMO推進事業 シティプロモーション事業	【7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業】 ・周遊型博覧会を通じた広域連携体制づくり事業。 【インバウンド誘客事業】 ・インバウンド誘客プロモーション 地域DMO萩市観光協会が実施する、フランス人ライターを萩に招聘し紹介記事を作成してもらいフランス国内で7万部作成されるZoomJaponに掲載することで外国人誘客の拡大を図るよ予定であったが、新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。 【周遊促進及び滞在消費喚起事業】 ○素材ブランディング・マッチングによる魅力創造事業 ・観光地「萩」の魅力創造事業 萩市の歴史・文化・自然・食をはじめとした魅力ある地域資源や暮らしなどを紹介する3種のプロモーション映像を制作し、インターネットを通じた配信を行うとともに、配信に係る効果測定及び分析を実施した。 ○着地型観光推進による観光地域づくり事業 ・編集タイアップ事業 地域DMO萩市観光協会が専門編集者とタイアップして実施するターゲット層(F2層)に特化した観光資源の発掘・整理及びそれによる観光プロモーションを実施する予定であったが新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。 ・3市連携萩往還ガイド事業 山口市、防府市、萩市にまたがる萩往還の語り部による萩往還ガイドウォーク等の取組を支援し、広域連携ガイドの充実による観光客の満足度向上・ガイドツアー造成により交流人口の増加を図った。	観光客数【年間】 外国人観光客数【年間】	R4.3	4,891,512人 33,100人 -	3,199,061人 516人 -	観光課

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付決定(千円)	交付(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
5	【推進交付金】 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり 【事業開始:R1】	33,929	21,451	16,965	ジオパーク推進事業	<p>・萩ジオパーク推進事業 萩ジオパークを楽しむためのジオガイド人材の育成と、ガイドツアーを行った。また、地域内外の来訪者へのジオパークの普及拡大を図るため、ホームページによる情報発信とイベントを開催した。</p> <p>①ガイド人材育成事業 インタープリテーションのスキルアップを目指し、外部講師を招聘し、Zoomを使ったオンラインツアーのスキルアップ講習を行った。</p> <p>②ジオツーリズム及び各種講座の実施 コロナ禍において、地域外からの来訪者が制限されたことから、Zoomを使ったオンラインツアーを12回、感染対策を講じながら実際のジオサイト等を案内するツアーを3回実施した。また、「萩ジオユニバース」と題し、地学をはじめ多分野の外部講師(大学教授等)によるオンライン講座や「食」を題材とした体験型オンライン講座を実施した。</p> <p>③公式ホームページリニューアルによる情報発信強化 地域内外の来訪者へのジオパークの普及拡大を図るため、ホームページ等による的確な情報発信を行うため、公式ホームページのリニューアルを実施した。</p> <p>④交流イベントの開催 ジオパークの認知向上とジオパーク活動を展開する市民団体等との交流を目的としたイベント「萩ジオパークフェア2021」を開催した。</p> <p>⑤情報発信事業 山口ゆめ回廊博覧会「大地の回廊」コンテンツの一つとして、萩ジオパークのPR動画撮影を支援した。また、萩ジオパーク的な楽しみ方を紹介したマップ・パンフレット等を作成した。</p>	-	R4.3	-	-	ジオパーク推進課
						<p>(ハード事業) 【萩ジオパーク情報発信拠点施設整備事業】 萩ジオパークの主要な見どころのひとつに笠山の山頂には展望台が設置されているが、この展望台に新たにジオパークの展示解説と休憩スペースを付加した。 ここを拠点とし、萩ジオパーク推進事業(ソフト事業)と連動した体験プログラム及びガイドツアーの創設と周辺ジオサイト等への周遊効果の増進を促すとともに、来訪者の満足度の向上と交流人口の増加を図る。</p>					